

阿久比一期一会荘だより



令和4年2月号

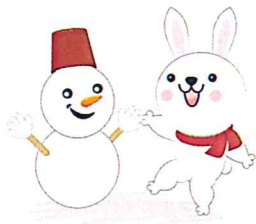


〒470-2212

知多郡阿久比町大字卯坂字桜ヶ丘 195 番地

介護老人福祉施設 阿久比一期一会荘

TEL : 0569-47-0205 FAX : 0569-47-0208



『当たり前にしない』

特別養護老人ホーム 阿久比一期一会荘
主任介護職員 杉浦尊俊

自宅から程よく近い場所にあり、何より「一期一会」という名前に惹かれて入社してから、早いもので十七年の月日が流れていました。その間には、たくさんの出会いがあった分、別れも多くありました。辛い別れの前では、もっと何かが出来たのではないかと、後悔ばかりが残る日々を多く過ごしました。そんな思いがある中で、ある人に言われた言葉が今でも心の中に強く残っています。それは、「今ある当たり前は本来当たり前ではないが、人は、それが当たり前でなくなった時、改めて当たり前ではなかったことに気づく。」という言葉でした。この言葉を聞いた時、今までの事を振り返るとともに、改めて当法人の理念である「一期一会の心とは、その時その時の中にある、二度とない出会いを大切にし、この出会いという宝物を感謝と尊敬の心で受け止め、常に思いやりと愛の心を持っておもてなしをすることです。」を、今まで以上に意識する機会が多くなりました。ただ、そう思い始めてからも、全ての事を思い立った時に行動することが難しい毎日です。しかし、今日ある一日は当たり前にあるものではなく、一日一日がかけがえのない日だということ。また、その時に出来る精一杯の力で何事にも向き合っていき、後悔を少しでも減らすことが出来るように、今後も精進していこうと思います。自分の身近な人で介護が必要になった時、一期一会にはこんな良い事があるのだと胸を張って言えるようにしたいです。

少し話は変わりますが日常生活においても、今まで当たり前だと思っていた事が、ここ数年の制限により当たり前ではなくなってしまったこと、今では反対にすっかり当たり前になってしまったことが多くあると思います。その中の一つがマスクだと思います。コロナウィルスが流行するまでは、マスクと言えば花粉症の時期や風邪をひいた時に使うもので、日常的に使用するものではありませんでした。しかし、今では年中、外に出る時にはマスクをするのが当たり前になってきました。その生活にも慣れつつある今日この頃ですが、早く以前のようにマスクなしでも自由に外へ出られるようになりたいものです。また、そんな日が来た時には、この生活が当たり前と思うのではなく、今ある事は全て特別なものだと思って生活が出来たら、今という時間を大切にして過ごせるのではないかと思います。

公私ともに毎日を大切に、今より充実していると感じられるようにしたいです。その為にも小さな目標を立て、少しでも前に進めるような努力を続けていこうと思います。



特別養護老人ホーム



今年の冬は、久しぶりに阿久比町でも雪が積もりました。寒い！寒い！！と言いながらも、雪に触れると「食べれそうなくらい柔らかいね！」と、皆さん喜ばれていました。



外は寒いですが、中ではお汁粉を作って温まりました。お餅の代わりに麩を使いましたが、「甘くて美味しい！」とたくさんの声が聞こえました。



コロナウイルスワクチン

既にご案内のとおり、2月15日、22日に、ご利用者様への新型コロナウイルスワクチン3回目接種を予定しています。今回、既に2回接種していることから、ご家族様の同意があるものとして準備を進めています。尚、ご自宅に予診票が届いた際は、施設へご提出くださいますよう、よろしくお願いいたします。

医療費控除について

2月16日（水）から確定申告の受付が始まります。

利用料領収書の紛失等で、医療費控除の証明書の発行を希望される場合は、相談員までお問合せください。



オンライン面会 窓ガラス越し面会



面会方法については随時検討を続けておりますが、2月は引き続きオンライン面会、窓ガラス越し面会を実施いたします。

日程につきましては、別途案内を郵送させていただきます。ご不明な点がございましたら、お気軽に担当者までご連絡ください。

オンライン面会にお越しの際は、玄関にある消毒液で手指の消毒とマスクの着用、面会シートの記入をお願いいたします。

窓ガラス越し面会は、別途案内させていただいた内容をご確認いただき、ご予約をお願いいたします。

ご利用者様の体調不良や施設内での感染状況等により、急遽中止させていただく場合がございます。

皆様のご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。



2月の予定



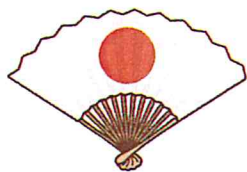
9日（水）ご馳走の日	昼食	12:00～
18日（金）移動理美容室	玄関前	9:30～



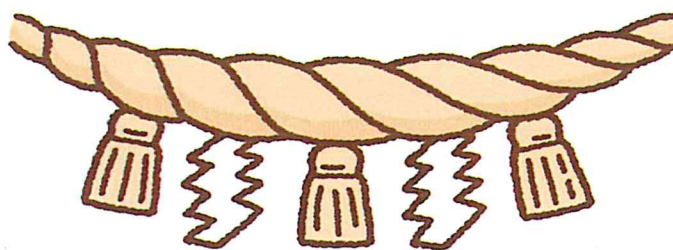
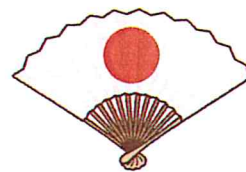
「密閉・密集・密接」を避けるため、集団でのレクリエーションや行事は全て中止させていただきます。

感染症の状況をみながら活動の再開を検討して参ります。

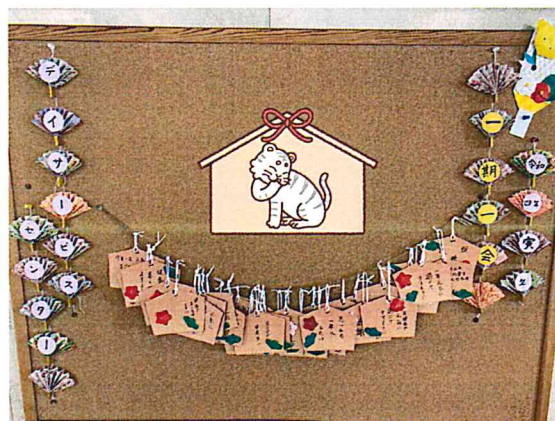




デイサービス



本来なら臼と杵でついたお餅を食べたいところですが、今年は餅つき機でついたお餅を、豆から煮たあんこで食べるぜんざいにしました。味や豆の状態はご利用者様に見て頂くのが一番です。おかげで美味しいぜんざいが出来上がりました。甘い物が好きな方は勿論、しょっぱい物好きの方に向けて箸休めの塩昆布を提供し、ご好評頂きました。1升半のお餅は、見事完売です！



毎月季節にちなんだレクリエーションを行っています。1月はお正月らしい物ということで、福笑いにカルタに干支ゲームにおみくじ。1組では恒例の絵馬を作成し、2組では毎日の予定を記入するノートに、今年の目標を書いて頂きました。まだまだ寒さで体が縮こまる日も多いので、体操だけでなくレクリエーションでも体が動かせるよう工夫していきたいです。

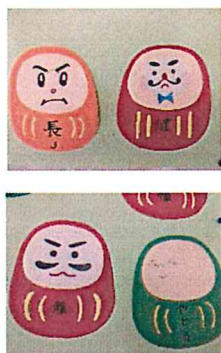


ケアハウス



1年の抱負

年も変わり、令和4年になりました。
1月のカレンダーは、ご利用者様の想いの詰まったカレンダーに仕上がりました。
「元気は一生の宝」という言葉。そして、習字で書かれた文字。だるまの顔にはご利用者様に、1文字を書き留めていただきました。食堂に飾ってあるカレンダーを是非ご覧ください。



白玉ぜんざい

1年で一番寒い季節がやって来ました。今回のぜんざいに使用した小豆は、ケアハウスで収穫された物も含んでいます。コトコト煮ていると、部屋中が甘い小豆の匂いでいっぱいになりました。温かい食べ物を温かいうちに召し上がっていただき、ご利用者様からは「温まる。美味しい」との声が届きました。



餅つき

ケアハウスでは餅つき機のお世話になり、つきたてのお餅をご利用者様に召し上がっていただきました。お餅の種類はあんこ・きなこ・大根おろしの3種の味を用意。事前に食べたいお餅の種類、数をお聞きし、お茶を添えてお配りしました。「少し硬いね。あんこおかわり。美味しかったよ」と言葉も色々でした。お餅を口に入れると、一緒に入れ歯が外れてしまうハプニングもありましたが、そこも愛敬。今回の餅つきレクにはケアハウスご利用者様15名全員が参加して下さい、餅つきは大好評でした。来年のお餅のリクエストも早々に挙がっていました。楽しみにお待ちしております。

